

未来をつむぐライフマガジン

FREE PAPER

無料

ご自由にお持ち下さい

ボラミミ

2025年 No.264

07・08 月号

社会のミカタ





今号のテーマは、「社会のミカタ」。

好きな映画や本に夢中になっているとき、ふとしたシーンで
「これって、本当に作品の中だけのこと?」と感じることはありませんか。
作品の中に、その時代の空気や社会のかたち、
そこで生きる人々の思いがそっと映し出されていることがあります。
今号では、そんな「物語の向こう側」にある世界を見つめてみました。
いつもとは少し違う視点で、一緒に物語を味わってみませんか?

INDEX

2025.7.8

- 等身大の物語が社会を照らす 中島 弘象さん P.02
- みつけた、たからもの 今村 彩子さん P.05
- カッテに社会派～私のイチオシ～ P.07
- 第88回 企業の社会貢献の現場から P.09
- あなたの街のボラスボ紹介 P.09
- Civic Tech入門18 P.10
- ボランティア情報 P.11
- ボラみみINFORMATION P.15



今村 彩子さん
映像作家

中島 弘象さん
『フィリピンパパ娘の経済学』著者



Interview

中島 弘象さん

等身大の物語が

社会を照らす

フィリピンパパ活の研究中に出会ったパパ活嬢との恋愛事情を軸に、そこで働く女性たちの実態を描いた『フィリピンパパ活嬢の社会学』(2017年)、国際結婚家庭のリアルな日常をつづった『フィリピンパパ活嬢の経済学』(2023年)の著者・中島弘象さん。統計や理論ではなく、自身の経験から社会を描く中島さんにお話をうかがいました。

フィリピンとの出会い

フィリピンとのつながりは大学時代から始まりました。はじめは、ゼミの活動で春日井市内で暮らすフィリピン人の方々と交流を持つようになり、その方々とどんどん仲良くなつて、個人的な付き合いも増えてきました。大学3年のときには初めてフィリピンに行き、自分自身が「外国人」として生きる経験をしました。言葉が通じない環境の中で不便さや孤独を感じたことで、同じように模索しながら日本で暮らすフィリピンの人たちとの心の距離がさらに近くなりましたね。その後「日本におけるフィリピン女性の子育て」をテーマに卒業論文を書きました。その時に読んだ本の中に描かれていた「フィリピン人女性の日本への出稼ぎ」に関心を持ち、大学院でフィリピンパパ活の調査を始めたんです。

フィリピンパパ活から見えた社会と人生

本を出版することになったきっかけは、大学院を

出て就職が決まらず……そんなときに大学の先生に勧められて参加した「ピースボート^(※1)」で、ジャーナリストの松本仁一さんと出会ったことです。ピースボートで講座を開いていた松本さんに、フィリピンパパ活で監禁されたことなどをちょっと大げさに話していたら、「面白いから、本を書いてみろよ」と言われました。その言葉がきっかけで執筆を始めたものの出版までは3年かかりました。ピースボートを降りて1年ぐらいで書き上げて出版できればいいかなと思っていたが、そんなに甘くはない。執筆する時間を確保するために、アルバイトをしながら執筆を続けました。アルバイト先から社員にならないかと誘われることもあり、すごく魅力的だなと迷いながらも「今は、夢に向かって、ちょっと頑張りたいので」と断ったこともあります。当時は本当にしんどかったですが、今思えば、あの時間はとても大事な時間でしたね。

※1 ピースボート…日本を拠点とするNGOピースボートが主催する地球一周クルーズ。船旅を通して、参加者は世界各地の文化や社会問題に触れ、交流や学びを深める。船内でも様々なイベントや講座が行われ、参加者同士の交流も活発。



『フィリピンパブ嬢の社会学』を書き始めたときは、みんなが知らないフィリピンパブの世界を知ってもらえたらしいなと思っていました。最初はあまり自分を出さずに論文調に書いていましたが、松本さんから「もっと自分を出せ」と言われて、自分語りと言うか自分を出すようにしたら原稿がどんどん進みました。書き進めるうちに、日本で頑張っている、自分も含めて必死に生きている人の生き様を出せたらいいなという思いに変わっていきました。そういう人生観、いきいきとした生き様が伝わって、広がったから、たくさんの人々に読んでもらえたのかなと思います。「ポジティブな気持ちになれた」とおっしゃってくれる人も多いですね。

2冊目の『フィリピンパブ嬢の経済学』は、自分の視点としては「あなたの隣に住んでいる国際結婚家庭のリアルな姿を紹介したい」という気持ちでした。特別、僕だけが知っていることを発信しているつもりは全くなくて、ただ僕が実際に見たことだけを書いています。それが普遍的に広がってくれたらいいなと思います。国際結婚をした人から「自分が悩んでいたわけじゃないと思って、心が軽くなった」というメッセージを何通もいただき、うれしかったですね。

映画となり、より遠くまで

『フィリピンパブ嬢の社会学』の出版から1年後の2018年1月に監督と出会い、映画化の話が持ち上がりました。その前にもドラマ化や漫画化など

の話はいくつかあったので、その中のひとつかなと思っていました。結局、実現しないことのほうが多いで「やるのかやらないのかわかんないけど、とりあえずいいっすよ」と話していたら、じゃあ、一緒に資金集めをしようということになりました。本当に一からのスタートだったので、本を書く以上に大変でしたね。運も味方しないと実現できない世界ですし、自分の努力だけではどうしようもない。僕もあまり器用な方ではないので、結果的に資金集めに4年ぐらいかかりました。それでも、地元の春日井市の会社もたくさん賛同してくれて、地元の人たちが盛り上げてくれました。

そのおかげで映画は1万人を超える観客を動員し、ミニマムサイズの映画としては大ヒットとなりました。本を出したときも「知らない世界を知ることができた」という感想が多く寄せられましたが、日本語で書いてるので、どうしても反響は日本語を読める人からしか来ません。でも、映画にはフィリピンの人たちからも大きな反響がありました。「ようやく自分たちが正しく描かれた」と。ステレオタイプ的な描かれ方ではなく、悪い人でもなければ、弱い人でもない、自分も夫とこうやって出会ったとか、例えば、偽装結婚をしてでも日本に来て働く事情とか、そのままの姿で描いてくれたことがありがたいと言ってくれる人が多かったです。映画にはステレオタイプ的な表現も大事ですが、核になるところ





はぶれないように脚本にリクエストもして、「原作者でここまでやる人はいない」と言われながら撮影も全部ついて回るほど僕も魂を込めた部分なので、そんな風にフィリピンの人たちが喜んでくれるのが一番うれしかったです。

自己目線の物語が社会につながる

僕がいつも言っているのは「自分視点で見た世界を書いている」ということ。自分の人生をそのまま発信することが大切だと思いますね。皆さん、あまり自分のことを発信しないじゃないですか。例えば、自叙伝を出す人の中には成功談ばかり書く人もいるかと思いますが、僕はもう少し丸裸の恥ずかしい部分を出していく、僕はまさに押入れに裸で隠れるとか、あまり出したくない部分も本で出しましたが(笑)。そうすると意外に「自分もそうだった」と共感してくれる人が多いなと思っています。うれしいことや楽しいことも自分視点で。生活していく何が一番楽しいかと言ったら、結局、僕は家族みんなが楽しく過ごしている瞬間なので、それを見た人も面白いとか楽しいと思ってくれるならうれしいです。

今は変わってきたいるかもしれません、多文化共生とか国際理解と言うと、フィリピンとかペルー、ブラジルなどそれぞれの国の文化を紹介しましょうということをよくやりますよね。あれも結構ステレオタイプ的だなと感じています。僕がフィリピンに行った時「日本人だから、折り紙を折れるでしょ」と言われて、折り紙を渡されました。でも、僕は折り紙は

折れないんですよね。そういう固定的なイメージを取り払っていくには、お互いに知りましょう、お互いの代表的な文化を理解しましょうというのもいいと思いますが、僕はステレオタイプ的なイメージにとらわれず、自分の目で見て、接した人たちの生き様を伝えていくことだと思っています。日本で暮らしている外国人、僕の場合は日本で20年、30年暮らしてきたフィリピン人たちの生き様というか、どう苦労して、どんなことに幸せを感じて、これから夢は何かみたいなことを発信していきたいですね。変化が多い社会の中で、日本で生まれ育ってきた日本の人にとっても何かヒントになるんじゃないかなと思っています。目指すのは日本で生きてきたフィリピン人たちの物語、映画『パッヂギ!』^(※2)のフィリピン人版を作ることです!

※2『パッヂギ!』… 2004年に公開された日本映画。1960年代の京都を舞台に、日本人と在日韓国朝鮮人の若者たちの友情や恋愛、文化の衝突を描いたドラマ。

Information



中島 弘象

愛知県春日井市生まれ。

会社員として勤務するかたわら、名古屋市のフィリピンパブを中心に取材・執筆等を行う。『フィリピンパブ嬢の社会学』は映画化された。

みつけた、 たからもの



特別寄稿

今村 彩子さん

父との見えない距離

「おはよう～」。2歳の息子を見ると相好を崩してあいさつする父。その足元に猫がすり寄ると「チャ子～、お腹が空いたのかな～」と優しく声をかけます。なんとも微笑ましい朝の風景だけれど、問題なのは父がわたしと目を合わせなくなったこと。コミュニケーションも必要最低限になっていました。父にその理由を尋ねたくても、恥ずかしさや照れ、怒りや悲しみがジャマをしてできません。「あたいは透明人間か!?」とツッコミを入れてこの状況を面白がることで、傷ついている心を癒やしていました。

その頃、映画制作も行き詰っていました。セルフドキュメンタリーを制作スタイルとしているわたしは、出産後からわが子にカメラを向けていました。しかし、カメラに触れることを身体が拒否するようになったのです。わたしは焦りました。なんなんだ、この異常事態は!?



そんなある日、父との大喧嘩がきっかけで、父がストレスをためていたことを知りました。わたしは息子のアレルギーや視力低下が心配で、「菓子パンはあげないで」、「スマホを見せるのはやめて」と父のやることなすことに角を立てていたのです。そのたび、父は文句を言わず、わたしの意思を優先してくれました。そのことを当然と思い、感謝の言葉も口にしなかった自分の態度に反省です。

これからは、多少のことは「ま、いっか」と目をつぶろう。添加物を徹底的に避けた食事より、たまには化学調味料の入ったおかずも食べたり、一緒にアンパンマンの動画に合わせて歌ったりした方がはるかに家族の免疫力を高めるはず。そう思ったわたしは父に伝えました。

「これからはお父さんの食べたいものも食べよう。スマホも少しならいいよ」。

すると、父の表情がやわらかくなりました。わたしに対して思うことがあってもどのように伝えればいいのかわからないから不満がたまり、どんどん無口になっていたのです。

小さな会議と大きな気づき

今回、父と仲直りしたとしても、今後、息子の成長にあわせて意見や接し方が異なることは絶対出てくるはず。でも、父もわたしもコミュニケーションが苦手。どうしたらいいかなと考えていた時、ひらめきました。定期的に家族会議を開くのです。「この時間は家族で話し合う」と決めておけば、「小さなことだから」、「言うのが恥ずかしいし」とやり過ごしていたことも口に出しやすくなります。父もその案に賛成したので、週に1回、晩ご飯の後に行っています。

最初の会議では、わたしはずっと気になっていたことを伝えました。「(ホームベーカリーで焼いた)パンを逆さまに置かないでほしい。せっかくいい感じでふくらんでいるのにぺったんこになってしま

うから」と。父は「パンの向きがあるのか!」と驚いていました。ええ?そんなのパンを見ればわかるのに!?とわたしは逆にびっくり。

次は父の番です。わたしの態度について何か言われるかなとドキドキしながら身構えていたので、「1週間の献立を決めたい」と言わされた時は拍子抜けしました。

わが家は、父とわたしが交代で晩ご飯を作っています。わたしは冷蔵庫の中にあるもので作ったり、スーパーで「今、何が食べたい?」と自分の身体に聞いたりして献立を決めます。一方、建築家でもある父は、家の設計図と同じように献立を決めてそれに向かって計画を立てます。レシピ通りに大さじ、小さじで調味料を量る人なので、見通しのつかない生活にストレスをためていたのです。食べたいものはその時の気持ちで決めるわたしと事前準備をする父。親子でもこんなに違うなんて。面白いなあ。

「撮らなきゃ」より「残したい」

わたしは早速、1週間の献立表を貼り、父はパンを定位置で置くようになりました。すると、ストレスが減り、コミュニケーションが増えました。変化はそれだけではありません。常に不安に駆られていた心が落ち着き、自分の大切にしたいことが見えてきました。それは、「息子や父と過ごす今しかない時間」です。これからは家族の時間を大切にしよう。そうと思うと、もう自分は十分にしあわせなのだと気づきました。

映画を撮れない原因もわかりました。映画制作



台所が好きな息子

の動機が「撮りたい」と心から湧き上がってくるものではなく、ただ「社会から置いていかれる」、「発表し続けないと、忘れられてしまう」という恐怖心だったからです。だから、いくらカメラを回そうとしても、心が、身体が動かなかったのです。現在は、「今しかない家族の時間を残したい」という思いにつき動かされ、息子と父に向けてカメラを回しています。家族会議にも。さて、どんな映画になるかな。

朝ご飯を食べていると、父が息子を抱いて2階から下りてきました。父と目があうと、父はこぶしを顔の横に当ててそのまま下げました。息子も小さなこぶしで同じように動かします。「おはよう」という手話のあいさつです。わたしも笑顔で返しました。「おはよう!」



父の肉巻き

Information

今村 彩子

愛知県名古屋市出身。

主な作品に『珈琲とエンピツ』(2011)、『Start Line』(2016)、『友達やめた。』(2020)、『きこえなかったあの日』(2021)等がある。

息子を育てながら、映像制作と執筆を行う。

<https://www.studioaya.com/>

『きのう何食べた?』

(1~23巻)

★著: よしなが ふみ

★出版社: 講談社 2007年~

【ライター:スタッフU】

ジェンダーや多様性という言葉に触れた頃かもしれない。2007年にスタートし、それから17年続く同性カップルを描いた漫画作品はドラマ化や映画化され、主人公たちにどこかで出会ったことのある人もいると思います。弁護士のシロさんと美容師のケンジの日常が「食」とともに紡がれ、ときに社会の壁にぶつかり、人生の機微が描かれています。現代社会に一石を投じる話が印象に残ります。同性婚が認められない日本。

大切なパートナーに財産を残したいと望むシロさん。でもケンジに相続権はない。遺言や養子縁組で権利を確保する術はあるけれど…。最新刊では還暦を迎えた主人公が人生に思いを巡らせます。二人と温かく切ない時間を共有しながら、自身も年を重ねています。



『100万回生きたねこ』

★作・絵: 佐野洋子

★出版社: 講談社 1977年

【ライター:スタッフOD】



100万回生まれ変わった猫は、100万人の飼い主に愛され、100万回死んで、100万人の飼い主が悲しみ泣きました。でも100万回生きた猫は、これまで悲しみ泣いたことはありませんでした。あるとき猫は、誰の猫でもない野良猫として生きました。そこで美しい一匹の白い猫と出会い、共に生きるようになりました。やがて白い猫が死にました。そのとき100万回生きた猫は、はじめて悲しみ泣きました。そして100万回生きた猫も亡くなり、二度と生き返ることはませんでした。

出会い結ばれても、やがてぶつかり合い、別れてしまうことが往々にしてある人間世界。もしかしたら、赤の他人同士が、ぶつかり合いながらも、時間をかけて家族になっていくことが幸せなのかもしれません。

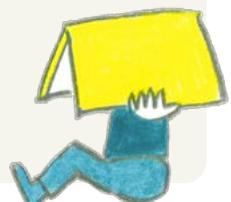
『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー1・2』

★著: ブレイディみかこ

★出版社: 新潮社 2019年

【ライター:スタッフON】

色白だった私は、小さい頃友だちに「ホワイト」とからかわれ傷ついた経験がありますが、アイルランド系英国人のお父さんと日本人のお母さんを持つ主人公が、英国の「底辺校」で受ける心の衝撃は、私には想像もつかないほど激しいものだろうと思います。傷つきながらも成長していく主人公を、母親の視点で温かくユーモアに富んだ文体で描いたノンフィクション。複雑な家庭環境をもつ友だちとの関係、次々と巻き起こる様々な出来事を通して、人種差別や貧困、LGBTQといった現代社会の問題について考えさせられます。読んでいると自然と主人公を応援したくなりますし、個人的には、祖父(著者の父)と主人公のエピソードは何度読んでも泣けてしまいます。



今号の「カッテに社会派!映写室」*は、特別編として、編集部のメンバーが選りすぐった「私のイチオシ」作品をご紹介! ジェンダーや多様性、貧困や不登校といった身近なテーマを温かい視点から描いた作品が揃いました。きっと、あなたの新しいお気に入りに出会えるはずです。

*「カッテに社会派!映写室」は、エンタメ映画に社会派の視点を取り入れて紹介するページです。



【ライター:スタッフN】

学校へ「行かない」「行けない」…。たった一文字変わるだけで、その言葉が意味する心持ちはまったく違う景色です。子どもにとって学校は大事な場所。それでも行かない選択肢もあるし、行けない時間を通して気づいたことで人生が変わるかもしれない。7人の不登校の中学生が不思議な世界で自分と向き合い成長するこの物語は、ミステリー要素を含みながら、思春期独特の心の機微を深く描いています。驚きながらも心温まるラストは何度読んでも思わず涙腺が崩壊します。思春期をはるかに通り越した大人にこそ読んで欲しい1冊です。そして、SNSからは汲み取れない子どもたちの心の揺れ動きを想像し、言葉にならない声に思いを巡らすきっかけになればと願います。



【ライター:スタッフF】



愛知県一宮市を中心とする尾州地域は日本一の毛織物産地として古くから発展しています。現在では世界三大毛織物産地の一つとされているこの地域から生まれる生地は、パリコレクションや各国の要人の服など、世界で愛用されています。

地域内には紡績から整理加工まで、各工程を担当する工場があり、尾州地域全体が一つの大きな工房といわれています。また、工場の後継者不足による需要減等が課題です。

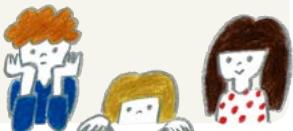
作品内では、ASD(自閉スペクトラム症)の高校3年生の主人公と周囲の人々が、服のデザインや製作を通じて成長する様子が描かれています。実際に開催されているBISHU FESファッションショーの前夜、服織神社で参拝する場面が感動的です。



【ライター:スタッフC】



日本の小学校に焦点を当てた『小学校～それは小さな社会～』の短編版として、アカデミー賞にノミネートされたドキュメンタリー映画です。社会性や人間関係を育むために、公立学校で行われている学級会や掃除などの「TOKKATSU(特別活動)」。この作品では、TOKKATSUにおける先生の役割から、子どもたちの強い思いや葛藤する姿までが記録されています。大人として子どもたちを温かく見守りたい一方で、彼らがいざれ直面するであろう社会問題から目を背けることはできません。TOKKATSUでの学びをどのように活かせるのか、何が不足しているのか、子どもの頃とは異なる視点で見られます。公立小学校出身の方には懐かしいシーンも多く、世代を超えて楽しめる作品です。



地元企業の社会貢献活動について、各社の担当者に取り組みを紹介いただいております。88回目となる今回は、有限会社シンセイ印刷です。

猫と人の共生を考える

有限会社シンセイ印刷ねこ部

有限会社シンセイ印刷（愛知県一宮市）は、猫の殺処分ゼロを目指す活動を応援しています。

2023年2月22日、猫好きのスタッフが集まり、動物愛護団体を支援するために「ねこ部」を立ち上げました。この活動では、印刷業務で出た余り紙（端材や廃棄される紙）を活用し、メモ帳やノート、猫専用の「うちの猫（ニ）健康手帳」などを製作しています。これらの商品はマルシェや通販サイトで販売し、その売り上げの一部を動物愛護団体に寄付しています。

また、一宮市で行われる「保護猫譲渡会」では、会場清掃を行ったり、保護猫愛護団体と共同でチャリティーグッズを企画・製造したりして、少しでも保護猫団体をサポートできるよう活動しています。



うちの猫（ニ）健康手帳



マルシェ風景

健康手帳」などを製作しています。これらの商品はマルシェや通販サイトで販売し、その売り上げの一部を動物愛護団体に寄付しています。

また、一宮市で行われる「保護猫譲渡会」では、会場清掃を行ったり、保護猫愛護団体と共同でチャリティーグッズを企画・製造したりして、少しでも保護猫団体をサポートできるよう活動しています。



寄付した商品



さくら猫啓発アイテム

最近では、SNSを通じた全国の猫好きの方々との交流や、避妊・去勢手術を受けた「さくら猫」「地域猫」の啓発活動も積極的に行ってています。

今後も猫たちがより幸せになれるような活動を続けていきたいと考えています。「うちの子だけではなく、すべての猫たちがハッピーに！」をモットーに、動物愛護支援活動や野良猫問題の現状を多くの人に知ってもらえるよう努力していきます。

有限会社シンセイ印刷

〒491-0838 愛知県一宮市猿海道3丁目10番3号

TEL:0586-72-1974 URL:<https://www.ndprint.jp>（ねこ部 野田美由紀）

・・・・・ 次回は、株式会社アートジャパンナガヤ設計をご紹介します。

あなたの街のボラスボ 紹介！

ボランティアやNPOの情報を得ることができるあなたの街のボランティアスポットを紹介していきます。

愛知県内の市民活動センターと社会福祉協議会ボランティアセンターの紹介

市民活動センター

現在、愛知県内の市町村が設置する「市民活動センター」は44か所あります。地域住民の自主的な社会貢献活動やボランティア活動を支援するための拠点です。各センターでは、活動支援、情報提供、交流促進、施設提供、講座・研修などが行われています。ぜひ右記の二次元コードからアクセスしてみてください。



社会福祉協議会ボランティアセンター

右記のサイトでは、愛知県内の各市町村に設置された社会福祉協議会のボランティアセンターの一覧を掲載しています。名古屋市16区をはじめ、東尾張・西尾張・知多・西三河・東三河など、県内全域のボランティアセンターの所在地や連絡先が網羅されており、地域に根ざしたボランティア活動を支援するための情報を調べることができます。



「シビックテック」ってご存知ですか？直訳すると「市民技術」とでも言いましょう。市民や行政とIT技術者が協力しつつ、ITをうまく活かして社会課題に取り組む活動です。2013年にCode for Japanという団体ができた後、「Code for ○○」という団体が日本中に80ほど生まれ、各地でシビックテック活動に勤しんでいます。この連載では、名古屋のシビックテック団体Code for Nagoyaの関係者が、いろいろなシビックテック事情をご紹介します。

今号では、テーマ「社会のミカタ」にちなんで、Code for Nagoyaのメンバーが生成AIに生成させた社会派短編小説をご紹介します。メンバーは生成AIに命令ただけで、文章には直接手を加えていません。挿絵も生成AIが作成したものです。

逆転の価値

西暦2058年、データ価値法が施行されて5年目のことだった。

私が勤める「データ価値評価センター」では、人々の個人データがどれだけの価値を持つか算出する仕事をしている。SNS投稿、購買履歴、身体情報、すべてが「データ資産」として価値化される時代だ。

今日の相談者は、涙ぐみながら言った。「私のデータ資産評価が、また下がりました。」彼女の画面には「データ資産評価：12.8（前月比-2.3）」と表示されている。平均値の53を大きく下回る数字だ。

「消費パターンが単調過ぎるんです。映画も音楽も読書もAIに最適化された『おすすめ』しか選ばない。独自性が皆無で、販売企業にとって価値が低いんです」

彼女は嗚咽を漏らした。「給付金は資産評価に比例するから、私の暮らしはますます苦しくなる…」私は彼女のプロファイルを開いた。平凡な消費者というデータしかない。そこで閃いた。

「おすすめを全部拒否してみてください。風変わりな趣味を始めるのです。例えば…」私はリストを見せた。「バイオハッキング、宗教カルト研究、旧型テクノロジー収集…」彼女は困惑した顔で頷いた。

一ヶ月後、彼女は満面の笑みで戻ってきた。「評価が67になりました！給付金も増えて、生活が楽になったんです！」私は微笑んだ。「おめでとう。あなたのデータは『予測不能層』として高く評価されました。AIが理解できない消費者は、企業にとって貴重な研究対象なんです。」



彼女が帰った後、画面に新たな相談予約が入った。
「データ資産評価：0.0」。システムエラーかと思ったが、詳細を見て愕然とした。

「完全オフライン生活者：データなし」

それは、かつて私の上司だった男性だった。昨年、突然辞表を出し、山奥に引っ込んだという。データがないということは、この社会では「存在しない」に等しい。だが彼の予約コメントには、こうあった。

「本当の価値を見つけた。話したいことがある」
私は長い間、そのコメントを見つめていた。

ボランティア情報

ホームページにも情報満載！
<http://www.boramimi.com>

ボランティア初めの一歩 大切なマナー&ルール

- さまざまな状況により、変更・中止となる場合もあります。
必ず事前に各団体にご連絡ください。
- 希望のボランティア先へ連絡するときは、まず名前を名乗って、用件（ボランティアに参加したい・詳しく聞きたい）を正確に伝えましょう。
- ボランティアへの参加当日、急用で参加できなくなったときは、必ず電話連絡を。また、約束の時間は守りましょう。



風の会 ふきのとう そうめん流しボランティア募集！



名古屋市
緑区

通所されている障害者の方々とふれあいながら、一緒にそうめん流しを楽しんでもらいたいです。そうめん流しの竹組みやターブメントの設営、食材の下準備、通所者がそうめんを上手く取れるようにサポート。片付け、食事の後は、通所者とボランティア、職員で交流会のゲーム大会を予定しております。

- 時：7月12日（土）9:30～14:30頃
■ 場所：名古屋市緑区大高町字一色山23
■ その他：電話、Eメール、FAXにてお申込みください。
【参加費等】お食事される方は400円
【持ち物】タオル・飲み物など
【子ども連れでの参加】可能
【申込〆切】7月7日（月）【定員】10名

NPO法人風の会 ふきのとう
担当：有川・中井・山口
TEL/FAX: 052-625-3212 (平日10:30～16:00)
E-mail: kazenokai@wh.commufa.jp

問合せ

名古屋市
南区



障害者の作業所と高齢者と障害がある方のデイサービスが一緒になった施設です。地域の方と共に過ごす夏祭りを開催します。利用者の相手や一緒に模擬店の販売、祭りの準備、後片付けのお手伝いをして頂ける方を募集します。職員と一緒にやって頂くので、ボランティア初心者の方も大歓迎です！

- 時：8月3日（日）15:00～19:00
■ 場所：ニコニコハウス鶴里/ニコニコデイサービス鶴里
名古屋市南区鶴里町3-40-1
■ その他：電話、FAX、Eメールにてお申込みください。
【子ども連れでの参加】可能【申込〆切】7月20日（日）
【定員】20名

社会福祉法人ニコニコハウス 担当：鈴村
TEL: 052-825-0711 (8:30～17:30)
FAX: 052-819-1577
E-mail: nikoniko-day@sirius.ocn.ne.jp

問合せ

手話ミュージカル公演のお手伝いボランティア募集！



名古屋市
中区

デフキッズ・プロジェクト手話ミュージカル公演『赤いアスターと時空の旅』のお手伝いボランティア。会場準備や片付け、お客様の受付や誘導をお願いします。

- 時：8月1日（金）13:00～16:00 顔合わせと説明会
8月2日（土）11:00～19:00 公演の準備、片付け、お客様受付・誘導など。13:30～または17:00～のどちらかの公演を鑑賞できます。
■ 場所：メニコンシアターAoi 名古屋市中区葵3-21-19
■ その他：2次元コードのGoogleフォームからお申込みください。
8月2日（土）の服装は上下黒色のパンツスタイルでお願いします。【申込〆切】7月20日（日）【定員】6名

NPO法人ポパイ
担当：山口
TEL: 052-508-9035 (8:30～17:30)
E-mail: olive@pop-i.info

問合せ



お料理ボランティア募集中



愛知県
日進市

アジアの様々な国からやってくるNGOワーカーが約5週間、AHIで寝泊まりしながら参加型研修を行います。この期間、昼食・夕食を作ってくださるボランティアを募集します。1回だけでも、毎週でもOK！宗教上の理由などで制限がある研修生もいますのでご了承ください。詳しくは、ご相談させてください。

- 時：8月23日（土）～9月28日（日）の月～土曜日
10:00～12:00、17:00～19:00
■ 場所：日進市米野木町南山987-30
■ その他：特に金曜日の夕食、土曜日の昼食・夕食作りができる方を募集しています。ホームページのお問合せフォーム、電話、Eメールにてお申込みください。【子ども連れでの参加】可能【申込〆切】8月18日（月）【定員】5名～10名

公益財団法人アジア保健研修所（AHI）
担当：木村
TEL: 0561-73-1950 (9:00～17:00)
E-mail: info@ahi-japan.jp

問合せ



学習のボランティア募集



青少年

名古屋市
緑区

児童養護施設で子どもたちに学習を教えていただける方を募集しています。小学生や中学生の子に1対1でおしゃべりも交えながらゆっくり関わっていただき、楽しい時間を過ごしてみませんか？誰かに特別に関わってもらった体験が子どもたちにとって大切な宝物になります。

■日 時：平日 15:00～20:00（週に1回1時間程度）

■場 所：名古屋市緑区大高台2-1718

■その他：子どもと関わることが好きな方、福祉に興味のある方、お気軽にご連絡ください。電話にてお申込みください。
【持ち物】筆記具

児童養護施設 ゆうりん

問合せ 担当：杉浦

TEL:052-621-2441 (9:00～20:00)

E-mail:yuurin@yuuringakuin.or.jp



リサイクルで海外協力



国際 環境

愛知県
豊田市

全国から寄せられた「道具」の仕分け、手入れ、発送準備などを行います。経験のない方でも気軽に参加できます。基本的に車での参加でお願いしています。車をお持ちでない方は、早めにお知らせいただくことにより参加できる場合もありますのでお知らせください。

■日 時：8月23日（土）13:00～16:00

8月24日（日）9:00～15:00

■場 所：豊田市旭八幡町敷田173-1 あさひ製材内

■その他：事前に電話、FAX、Eメールにて申込みをお願いします。
【参加費】参加形態により違いがあり、事前に問い合わせをお願いします。【子ども連れての参加】可能【申込〆切】8月19日（火）

自立のための道具の会・TFSR Japan

問合せ 担当：鈴木

TEL:0565-68-3637 (8:00～18:00)

FAX:0565-68-2817 E-mail:tools@tfsr.jp



NPO法人・一般社団法人 設立・会計・税務等の支援をします お気軽にご相談ください

サカエ税理士法人 税理士・公認会計士 遠島敏行
名古屋市中村区黄金通2-54 TEL:052-482-6600
URL : <http://www.sakaetax.com>
<http://www.seturitu-unei.com/>
E-mail : info@seturitu-unei.com

子どもの育ちを支えるボランティア情報



障害者 青少年

名古屋市
昭和区

発達の気になるお子さんに対して様々な支援を行っています。専門職による親子教室（療育グループ）で一緒に遊んだり、きょうだいのお世話をしていただける方を募集します。子育てが一段落した方、保育・福祉・教育について学んでいらっしゃる方など、関心のある方はぜひお気軽にお問い合わせください。

■日 時：月曜日13:00～17:00

火曜日13:00～17:00

■場 所：名古屋市昭和区折戸町4-16

■その他：電話にてお申込みください。【持ち物】動きやすい服装
【資格、条件等】子どもが好きな方【定員】2名

名古屋市中央療育センター

問合せ 担当：細川

TEL:052-757-6126 (平日8:45～17:15)



中川区荒子で日本語ボランティア体験



国際 まち
づくり

名古屋市
中川区

中川区荒子の日本語教室で、外国の方が、文字やあいさつ、文法や会話の勉強をしています。日本語を教えてくださるボランティアを募集しています。初心者の方歓迎です。教え方などはテキストに沿ってくわしく説明させていただきます。※中川区内など近隣に在住の方限定です

■日 時：7月6日（日）・13日（日）・20日（日）9:45～12:00

■場 所：中川区社会福祉協議会 研修室・調理室・ボランティアルーム
名古屋市中川区小城町1-1-20

■その他：Eメールで、お名前、連絡先（お電話またはメールアドレス）、ご住所（町名まで）、参加希望日をお知らせください。【持ち物】筆記用具【子ども連れての参加】可能【定員】1～2名（1日あたり）

なかがわにほんごサロン

問合せ 担当：おざき

TEL:070-5642-2716

E-mail:nihongo.nakagawa.moriyama@gmail.com



地域に根差す 社会貢献企業へ

2021年2月 SDGs宣言



ニーズに応える印刷会社

デジタルコンテンツ・AR（拡張現実）等

オフセット印刷 セキュリティー印刷
商業印刷全般 金券、商品券、証明書 等

防災マニュアル・飲料水

<https://hishigen.co.jp>



〒490-1144 愛知県海部郡大治町西條松下75
TEL:052-444-2323 FAX:052-444-2636
【東京営業所】TEL:03-5577-5686

●菱源株式会社は「ボラみみ」を応援しています。

岐阜県御嵩町での森林ボランティア活動



環境

岐阜県
可児郡

岐阜県御嵩町にあるヒノキ林の枝打ち・間伐を、月に1回(第2土曜と翌日の日)行います。また、木工や製紙原料としての出荷など、間伐材の利用にも取り組みます。御嵩町は、名古屋地区の水源となっている木曽川の上流にあります。私たちの「水源の森」の整備にぜひ力を貸してください。

- 日 時: 7月12日(土)・13日(日) 10:00~16:00ごろ
(いずれか1日だけの参加も歓迎です)
- 場 所: 御嵩町「中公民館(なかこうみんかん)」駐車場集合
岐阜県可児郡御嵩町中2171-1
- その他: Eメールにて一度ご連絡ください。【参加費等】保険費用として100円【持ち物】軍手、山歩きのできる服装(長袖)、昼食【子ども連れでの参加】可能【定員】30名・先着順

みたけ・500万人の木曽川水トラスト

担当:市村
TEL:052-735-5453(平日9:30~18:00)
E-mail:mitake500npo@yahoo.co.jp



問合せ

名古屋市
熱田区

宮の渡し公園及び堀川護岸清掃と水質浄化活動

宮の渡し公園及び堀川護岸清掃でのゴミひろい。堀川浄化の為の人工干潟/葦原のメンテナンス作業です。お子様連れの方も歓迎です。基本的には少雨決行ですが、参加される方の判断にお任せしています。定員50名。50名を越える場合は事前にご連絡下さい。公共交通機関をご利用下さい。



環境

まち
づくり

名古屋市
熱田区

- 日 時: 7月20日(日) 10:00~、8月17日(日) 10:00~

- 場 所: 宮の渡し公園/堀川周辺
名古屋市熱田区神戸町

- その他: 参加希望日、お名前、団体/個人、電話番号、メールアドレスを明記の上、FAX、Eメールでお申込みください。
【持ち物】軍手、汚れても良い服装と虫よけ対策(長袖・長ズボン)にもご配慮下さい。【申込〆切】実施日の3日前

NPO法人堀川まちネット

担当:事務局 川口
TEL/FAX:052-217-8106(15:00~19:00)
E-mail:horikawa-seisou2000@horikawamachi.net



問合せ

ベトナム青年に日本語を教えるボランティア体験



国際
生涯
学習

名古屋市
南区

名古屋のベトナム青年等に日本語を教えるボランティア体験です。初めての方歓迎です。土曜日の体験に2回参加できる方(すみませんが、1回のみは不可です)。

- 日 時: 7月5日(土)・12日(土)・19日(土)・26日(土)
18:30~20:50(初日集合時間は18:15です)
- 場 所: 名古屋市南生涯学習センター 第3集会室ほか
名古屋市南区東又兵衛町5-1-10
- その他: お名前、メールアドレスまたは電話番号、勤務先名(学生の場合、学校名と学部名)参加希望日(2日分)、簡単な自己紹介を書いて、Eメールにてお申込みください。【定員】2名

チュンタムみなみ日本語教室
(NPO法人名古屋ベトナムネット)
担当:荒川 携帯:070-5642-2716
E-mail:758vietnam.net@gmail.com



問合せ

愛知県
一宮市

一宮市のまちづくり活動に関わりませんか。チラシ配布などの簡単な軽作業から、イベントの企画・運営、デザイン、開発まで、様々な参加の形があります。「杜の宮市」「まちの宮市」「ラブたな」などのイベント、「一宮市市民活動支援センター」や「com-cafe三八屋」など様々な活動で活動しています。



- 日 時: 木曜日19:00~21:00の定例ミーティング
その他随時(自由参加)

- 場 所: i-ビル・一宮市市民活動支援センター 一宮市栄3-1-2
プリンスアレイ、本町通り 一宮市本町3-3-30
com-cafe三八屋 一宮市本町4-1-9

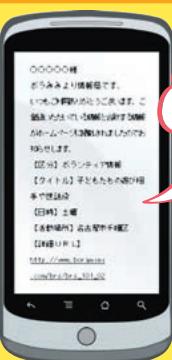
- その他: 2次元コードの「まちズン」ページからお申込みください。
【定員】20名

NPO法人志民連いちのみや

担当:星野
携帯:090-2265-9188(出ない場合は留守電を)
E-mail:info@shimin.org



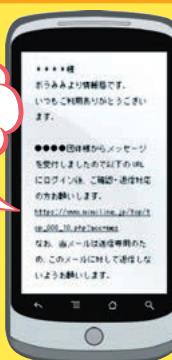
問合せ



あなたの
ほしい情報が
メールで届きます

やりたい活動が見つかる
ボランティア登録サイト

みみライン



児童養護施設での学習支援ボランティア



青少年

愛知県
尾張旭市

社会的養護を必要とする子どもたちを応援する活動として、児童養護施設で中学生を対象に（小学生参加の場合あり）、高校を卒業できる学力をつけてもらうため、現地（またはオンライン）での学習支援を行っています。教えた経験がない方も、教える自信のない方も、子どもが好きな方ならOKです。

■日 時：土曜日（休みあり）9:50～12:00

■場 所：児童養護施設蒲生会 大和荘
尾張旭市柏井町公園通512

■その他：施設の都合などでお休みになることがありますので、必ず事前にEメールにてお問い合わせください。活動の様子は、2次元コードからホームページをご覧ください。
【持ち物】筆記用具

NPO法人ジュヴェニル

担当：山中
E-mail: mail@juvenile.aichi.jp



問合せ

子どもと遊ぶボランティア募集



青少年

名古屋市内

名古屋市内の小学校や施設で子どもに向かって工作やレクゲームを行っています。「子どもと遊ぶのが好きな大人の集まり」という感じでマッタリと活動しております。子どもと遊ぶのが好きな方はもちろん、学校の先生を目指している方には子どもとふれ合えるいい機会が得られると思います。ぜひ一度、体験にお越し下さい。

■日 時：基本月1回（第3土曜日）13:30～15:30 ※例外もあり。

■場 所：名古屋市西区浮野小学校トワイライトルーム
及び生涯学習センターなど

■その他：Eメールまたは、2次元コードから、わいわいボランティアホームページの「ボランティア募集」欄よりお申込み下さい。最近の活動はフェイスブックに更新されています。ご質問はメールにてお願いします。

わいわいボランティア

担当：村山
E-mail: yy_volunteer2007@yahoo.co.jp



問合せ

NPO法人風の会 夏祭りボランティア募集！



障害者
まち
づくり

名古屋市
緑区

地域の皆様も楽しみにしているイベントです。前日は商品の値付けや企業品・利用者製品・模擬店などのPOP作り、当日は会場の準備・テント張り設営・撤去、模擬店の準備・販売やゲームコーナーの進行、掃除や後片付けなどを、お願いいたします。ボランティア初めての方大歓迎。

■日 時：8月1日（金）14:00～17:00（前日）

8月2日（土）13:00～20:00（当日）

両日とも都合がつく時間帯のみの参加で大丈夫です

■場 所：名古屋市緑区大高町一色山23

■その他：Eメール、電話、FAXにてお申込みください。模擬店、キッズゲームコーナー等盛りだくさん。【持ち物】飲み物・昼食・熱中症対策等【子ども連れでの参加】可能【定員】30名

NPO法人風の会 ふきのとう

担当：有川・中井・山口
TEL/FAX:052-625-3212（平日10:30～16:00）
E-mail: kazenokai@wh.commufa.jp



問合せ

青年学級合同運動会 運営スタッフ募集



障害者
スポーツ

名古屋市
昭和区

名古屋市で青年学級4団体の余暇活動を支援するボランティアが合同で運動会を企画・運営します。当日の運営に携わっていただけるボランティアさんを募集しています。年齢、性別、ボランティア歴などは問いませんので、一緒に盛り上げていただける方、いかがでしょうか。

■日 時：9月21日（日）9:00～16:00頃

■場 所：名古屋市昭和スポーツセンター
名古屋市昭和区吹上2-6-15

■その他：Eメールにてお問い合わせください。比較的軽度な知的障がい者のグループです。【持ち物】室内用運動靴・昼食・暑さ対策【子ども連れでの参加】可能【申込み切】9月6日（土）

名古屋障害者青年学級連絡協議会

担当：木下
E-mail: pinoabcdefg@yahoo.co.jp



問合せ



会 員 募 集 中 ！



『ボラミミ』の発行・配布費用は、会員のみなさまの会費に支えられています。ボラミミの活動に賛同し、ご協力いただける方がいらっしゃいましたら、ぜひ、ご連絡ください。

TEL:052-228-7824

E-mail: office@boramimi.com



新規・継続会員登録の方々 (順不同)

■法人正会員:

●社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会様

■団体正会員:

【継続】●特定非営利活動法人きらら様

■個人正会員:

【継続】●森本 花織様 ●岡 久美子様 ●田中 兵太郎様

●匿名1名

■法人賛助会員:

【継続】●社会福祉法人あさみどりの会様

●中川区障害者基幹相談支援センター様

●社会福祉法人名古屋市中区社会福祉協議会様

●社会福祉法人工ゼル福祉会様

■団体賛助会員:

【継続】●がいどボランティアとよたネットワーク様

●特定非営利活動法人堀川まちネット様

■個人賛助会員

【継続】●半田 博子様 ●中尾 さゆり様

●箕浦 真知子様 ●伊藤 直美様 ●匿名2名

■寄付

●横田 進様 ●中尾 さゆり様 ●伊藤 直美様

●匿名30名



「ボラミミ」配布先

— 詳細はホームページにて掲載中! —



●WEBより

●携帯より



QRコード

<http://www.boramimi.com/haihu/>



みんなの声

●NPO法人風の会様

今回は掲載後の問い合わせはありませんでしたが、今後も幅広くボランティアを募集していることを知っていただききっかけづくりにしていきたいです。これまで通りよろしくお願ひいたします。

●一宮ボランティアグループリーダーの会様

去年の6月に「第11回2024市民と企業の協働フェス夕」を実施しました。そのときにご協力をいただきました。お礼が遅くなりました。

●シユヨーネット様

当会の福祉情報を掲載していただきました。



N



編集後記

作り手が作品を世に送り出す時、それが自分の身の回りで起きている繊細な問題であればあるほど、深く強い思いが放たれることに改めて気づかされました。様々な問題を提起しつつ、どの作品も単純な答えを用意していません。それはそうです。現実がそうなんですから。だからこそ、ささやかなことかもしれません、まずは一人ひとりが前向きな気持ちを失くさないこと、思いやりの気持ちを持ち続けることに尽きるのではないか。私にとって、生きていく原点を大いに見つめ直す機会になりました。



次号予告

次号のテーマは 「たがやす」。

2025年9月1日発行予定です。お楽しみに!



センター主催講座・イベントのご案内

7/8[火]

→ 13:30～15:30

NPOのための講座「認定・指定NPO法人講座」

(受付中)

認定・指定NPO法人とは、法人への寄附を促すことにより活動を支援するため税制上設けられた制度です。この講座では、制度の概要、申請までのステップ、取得のメリットなどを丁寧に解説します。取得に向けた第一歩を踏み出すための機会として、ぜひご参加ください。

■定員：20名

■参加費：1,000円

■講師：鳥居 翼氏(税理士)

7/23[水]

→ 13:30～16:30

NPO講座「NPO法人をつくろう」ゲストトーク編&法人設立編 ☆同日開催

(受付中) *ゲストトーク編又は法人設立編のみの参加も可能です。

◆ゲストトーク編 <13:30～14:50>

「そもそもNPOとはなに?」「非営利とはどういうこと?」など、基礎的な講義とNPOの運営や活動への思いなどを学べる講座です。NPOに興味・関心のある方、実際の活動の話を聞きたいという方はぜひ!

◆法人設立編 <15:00～16:30>

「NPO法人ってなに?」「どうやってNPO法人を設立するの?」など、NPO法人の設立前に準備するものや書類作成のポイントを学べる講座です。自分たちでNPO法人を設立しようと考えている方はぜひ!

■定員：各30名

■参加費：各500円(*それぞれに申込と参加費が必要です)

■ゲスト：宮澤 カトリーン氏(NPO法人HAPPY PLANET)

■講師：市民活動推進センター職員

講座受講のお申込みは、窓口・電話・FAX・電子メールにて受付けます。電子メール・FAXでお申込みの際は、講座名・氏名・電話番号・FAX番号・所属団体・参加動機をご記入ください。名古屋市内に在住、在勤、在学の方、または名古屋市内で活動している(活動する意思のある)個人・団体を対象とします。詳しくは、当センターのホームページをご覧ください。

※定員に達した時点で、締め切らせていただきます。ご了承ください。

■NPOのためのアドバイザー相談 【参加費：無料、要申込】

内 容	日 程	担当アドバイザー
会計・税務	7/ 8[火] 16:00～	鳥居 翼(税理士)
設立・運営	7/18[金] 18:00～	織田 元樹(NPO法人ボラみみより情報局)
会計・税務	7/25[金] 10:00～, 11:30～, 14:00～, 15:30～	橋本 俊也(税理士)
設立・運営	8/22[金] 16:00～	織田 元樹(NPO法人ボラみみより情報局)

名古屋市市民活動推進センター

住所：〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目18番1号
ナディアパークデザインセンタービル6階
電話：052-228-8039 FAX：052-228-8073
電子メール：npo@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp
URL：<https://www.n-vnpo.city.nagoya.jp/>



スタッフの つぶやき

スタッフ：市川

今年の4月に配属になりました市川です。新しい環境で緊張していますが、頑張ります。最近、ふと目標の大切さを実感しました。先日、ランニングをした際に、同じ時間、同じ場所で遭遇することの多いアスリート気質のおじいちゃんと、勝手に熾烈な競争を繰り広げ、勝手に敗北しました…(泣)。次こそは、おじいちゃんに負けたくないという目標のもと、モチベーションに拍車がかかっています!!



イラスト協力：加藤舞美

新しく認定NPO法人になった団体をご紹介します！

団体名 日本家庭教育再生機構

- 主たる事務所：名古屋市天白区
- 主たる活動分野：子どもの健全育成を図る活動



Q：どんな活動をしているのですか？

A：当法人は充実した子育て支援事業を展開するため、児童館・幼稚園・保育園・社会福祉施設・大型商業施設等でのバイオリン演奏とともに、子育て応援メールの送付や講演活動等を行い、また働く母親への支援を目的とした学習塾「ちゃんと塾」を開設、直接的な子育て支援にも努めてきました。今後も乳幼児から小中学生まで幅広い年齢層へ様々な教室や相談の場を提供する「キッズウイング」や、ひとり親・貧困層等の家庭に低料金で学習の場を提供する「e-teacher」の活動を通じて、格差のない教育支援と健全なる子育て支援に一層貢献してまいります。

Q：なぜ認定を取ろうと思ったのですか？

A：子育て支援事業に一貫して従事し48年になりますが、子どもの問題は年々増加、2023年には小中学生の不登校数が346,482人で過去最多となり、教育格差は拡大する一方です。子どもはみんな「磨けば光る原石」であり、一人の大人が与えたほんの小さな「きっかけ」が子どもの輝かしい未来を拓くことはよくあることで、その意味でも今まさに全国の保護者や大人に「子どもをみんなで育もう」と呼びかけるべき時が来たと考え、私たちの活動を多くの方に知ってもらい、応援していただくためにも認定取得が必要と考えました。



Q：これから認定NPO法人を目指す団体にアドバイスをお願いします！

A：非営利活動のため、当法人は中部・北陸・関西・関東の広範囲でバイオリンコンサートを実施しながら、子育て支援の運営資金に充ててまいりましたが、コロナ禍ですべてキャンセルとなり、活動停止になったこともあります。そんな中で一回目の申請の勉強不足を反省、しっかり準備をして二回目の認定申請に臨み、ようやく認定をいただきました。その間、市民活動推進センターからご教示を賜り、また勉強会でのプロの先生方との出会いやアドバイスも大変ありがたかったです。まずは「相談」をおすすめします。

「日本家庭教育再生機構」についてのさらに詳しい情報は、こちらをご覧ください。

- ホームページ：n-kateikyouiku.org
- 電話：052-680-9983 ●FAX：052-806-6209



認定・特例認定・条例指定
NPO法人の制度や手引きについて
は、当センターのホームページをご覧ください。



3・4月の設立認証NPO法人

名 称	所在区	主な活動分野
ハピハグ	中村区	子どもの健全育成
日本潜水連盟	南区	環境保全
みんなの力の相談窓口	南区	保健・医療・福祉
おとし守り	瑞穂区	保健・医療・福祉
こえる	中区	社会教育
てらす	中川区	保健・医療・福祉
日本PMI協会	中区	経済活動
総合型地域スポーツ・文化・学習クラブ	東区	学術・文化・芸術・スポーツ
さたばんびん	千種区	保健・医療・福祉
アールズ	北区	人権擁護・平和推進
共生	緑区	保健・医療・福祉
名古屋高齢者支援の輪	西区	人権擁護・平和推進

4月末現在の所管法人数

★認証法人数：889法人 認定法人数：31法人 特例認定法人数：2法人

キャリア教育＝職業体験？その手前にある大切なものの



倉田 佳代子さん
(NPO法人Grow & Leap代表理事)

『究極の尊重』

伊藤：Grow & Leapの活動は、一般的なキャリア教育なのかな？と思っていましたが、その子に着目し、その子がどのような背景を持ち、将来、社会にどんな影響を与えることができるのか、という深掘りを、ご本人と一緒にされているとおうかがいしました。それは、その子のことをGrow & Leapが大切にしている、という「究極の尊重」なのではないか、と感動しました。

倉田：「究極の尊重」…それが伝わって、とてもうれしいです。キャリア教育＝職業体験というイメージでしか伝わらないことが多いのですが、Grow & Leapでは、「一人ひとりが自分のバックグラウンドや育った環境に対して、自分なりの価値を与えられるようにサポートしたい」というところからスタートしています。マイナスなバックグラウンドでも、多様な価値観とのコミュニケーションを通して、自らが価値を与えることは可能です。自分のルーツを理解し、自分を客観的に見る視点が養われると、輪郭を持って自分を捉えられるようになります。それが自己肯定感につながり、「自分は何ができるだろう」という発想に変わっていく…。自分に価値を見出しができれば、その子が幸せになるだけでなく、その子の行動や発信により、新しい可能性が社会に生み出されていくことにもなります。



「受けた」ものを返す

伊藤：NPO法人として活動5年目に入るGrow & Leapですが、最初は意図が伝わらないなど、ご苦労もあったと思います。このように、多くの人々に届くようになるまで、続けてこられた理由をお聞かせください。

倉田：不思議なのですが、つらいことが重なり、「もう続けられないかも…」と気持ちが落ち込む時に限って、「子どもが次の開催をとても楽しみにしています」というコメントをいただいたりして、「自分がやめたら、社会にとって大きな損失になるのではないか」という使命感にかられる出来事が起ることです。結局、私は楽しみにしてくれる中高生たちから力を「受け」ています。以前、中高生から「Grow & Leapが、自分を応援してくれていると思ったから、頑張れた」という嬉しい言葉をもらいました。それは、「受けたものを返したい」ということでもあります。子どもたちは、どこかのタイミングで、自分が「受けてきた」ことに気がつく時が来ます。それまで、信じて、期待し続けられるかが重要です。

伊藤：とても楽しみですね。これからGrow & Leapについてお聞かせください。

倉田：今、第一期生が大学3年生です。彼らがこれから社会に出て、どんな活躍をしていくか、すごく楽しみです。私たちは、彼らが次の世代を応援したり、背中を見せていく場所でもあります。本当に可能性がある子たちばかりです。そこに、信じてあげられる人が親以外にもいるだけで、子どもたちは大きな力を受け取ってくれます。



伊藤 葉子
(市民活動推進センター所長)

なごや

市民活動通信

2025
7・8月号
No.118
無料



市民のちからで
いきいきなごや

なごや 「ふるさとNPOセレクト」への登録団体募集中！

「あのNPO法人のこの事業なら、興味もあるし応援したい！」

NPO法人の事業をセレクトし、ふるさと納税でNPO法人を支援できる仕組み、NPO法人支援事業「ふるさとNPOセレクト」への登録NPO法人を募集しています。

NPO法人の事業を『プロジェクト』として登録してみませんか？プロジェクトへの寄附金は、当該NPO法人に補助金として交付されるほか、名古屋市のNPO法人支援事業に活用されます。

申込期限は、2025年7月15日(火)です！プロジェクトの登録をお待ちしています。

主な登録条件

プロジェクト登録可能な団体

- 名古屋市内に主たる事務所があるNPO法人
- 継続して1年以上事業を実施していること

プロジェクト登録可能な事業

- 法人定款に記載された特定非営利活動
- 名古屋市内で開催されること、もしくは、受益者に不特定多数の名古屋市民を含むこと

※既存事業でも新規事業でも対象

★登録条件や対象事業など、詳細については、センターホームページからご確認ください。



★2024年度に活用したNPO法人の事業・
決算の報告はこちらからご覧いただけます。



NPO法人Grow & Leap代表理事 倉田 佳代子さん×センター所長 伊藤 葉子対談

2024年10月に開催した「なごやNPO応援フェス」の『NPOトークセッション』で、中高生の将来のために、彼らと真正面から向き合う活動をしている、NPO法人Grow & Leap代表理事の倉田佳代子さんと出会いました。今回は、もう少し掘り下げて、その時には聞けなかった、活動内容ややりがいについておうかがいしました（次ページ）。



NPO法人Grow & Leap

「自分のやりたいことがわからない」と悩む中高生が多いことを社会課題と捉え、日本の次世代を担う10代に対し、「自分らしいキャリアデザイン」ができるようになるための活動をしている。学歴や職歴の枠組みを超え、「どんな人生にしていきたいか」、自分なりの答えをはっきりと見出すことができるよう、一人ひとりの「個性（感じたこと・考えたこと）」を引き出していくプログラムを提供する。

任意団体として活動を始めてから7年、NPO法人格を取得してから5年。

※この冊子は、「なごや市民活動通信」と、「未来をつむぐライフマガジン『ボラみみ』」の合冊です。

■発行日：2025年7月1日

●「なごや市民活動通信」のお問い合わせ

■発行部数：9000部

名古屋市市民活動推進センター TEL 052-228-8039

●「ボラみみ」のお問い合わせ

特定非営利活動法人ボラみみより情報局 TEL 052-228-7824

印刷：菱源株式会社 ©名古屋市市民活動推進センター 2025 禁・無断転載